

中学生に対する救急実技講習 事業概要

30年4月

1. 事業目的

- ① 生徒に応急手当、心肺蘇生法及びAED使用方法を習得させることにより、学校生活等における事故やけがに生徒も迅速に対応できるようにし、安心安全な学校の構築を目指す。
- ② 生徒の「命の尊さ」に対する意識の向上を図る。
- ③ 毎年、生徒に救急実技講習を受講させることにより、地域全体に受講者を増やし、地域の安全率、救命率の向上を図る。

2. 事業主体

長生郡市の各教育委員会、長生郡市広域市町村圏組合消防本部及び同組合医療民生課による共催事業

3. 講習会の内容

- ① 事前学習 【1時限；50分】実施者は各学校の教師
内容→ DVDで心臓突然死の実態や事例を視聴。
地域で中学生が父親や祖母を救命した事例の手記を朗読
心肺蘇生の流れを予習
- ② 救急実技講習 【2時限；100分】実施者は広域職員及びボランティア講師等
内容→ 心肺蘇生法・AEDの使用法の実技修得（班ごと）
※ ボランティア講師登録人数 消防職員；105人、応急手当普及員88人

4. 事業経緯

- ① 23年8月 普通救命講習（3時間）試行、早野中35人、茂原中54人
- ② 24年11月 救急実技講習（100分）試行
茂原中128人、早野中66人、南中170人、3校合計364人
- ③ 25年1月 ②で受講の中学生（女子）が自宅で父親に心肺蘇生を行い救命する。
- ④ 25年3月 郡市教育長・校長会長等による検討会議で郡市全体での実施決定
- ⑤ 25年度～ 郡市内全中学校（13校・約1300人）で授業の一環として主に2学年を対象に開始
- ⑥ 27年7月 受講1週間後の中学生（女子）が、自宅で心肺停止となった祖母に119番通報の口頭指導に従い心肺蘇生を行った結果、一時的な救命に成功した。

5. 30年度計画

- ① 前年度と同様の方式で、郡市内の全中学校で実施予定（対象人数1213人）

6. 29年度アンケート内容と感想文

別紙のとおり

【中学校における救急実技講習】アンケート

全体 回答数：1, 209名

本日は、【救急実技講習】にご参加頂きありがとうございました。今後の事業の参考にさせて頂きたいので、アンケートにご協力をお願い致します。

※ 該当するものに○をしてください。

1. 中学校のどこにAEDが置いてあるか知っていましたか？

(747) 知っていた。(61.8%) (459) 知らなかった。(38.0%) (3) 未記入 (0.2%)

2. 心肺蘇生法とAEDの使い方を詳しく知っていましたか？

(129) 知っていた。(10.7%) (1,079) 知らなかった。(89.2%) (1) 未記入 (0.1%)

↓

2-2. 今回の講習前に、心肺蘇生法やAEDを使える自信はありましたか？

☆ 心肺蘇生法 → (80) 自信はあった。(62.0%) (47) 自信はなかった。(36.4%) (2) 未記入 (1.6%)

☆ AED → (63) 自信はあった。(48.8%) (63) 自信はなかった。(48.8%) (3) 未記入 (2.4%)

3. 今回の講習で、心肺蘇生法やAEDを使える自信はつきましたか？

(1,151) 自信がついた。(95.2%) (52) 自信はつかなかった。(4.3%) (6) 未記入 (0.5%)

↓

3-2. 自信がつかなかった理由は何ですか？

- ① どこを押せば、うまく胸骨圧迫が出来るか心配だから
- ② 自分の力で5cm強く押すこと
- ③ 胸骨圧迫の押すタイミングが難しかったから
- ④ 胸骨圧迫が強く押せなくて、緑ランプが点かなかったから
- ⑤ 胸骨圧迫をしながら、会話することが難しかったから
- ⑥ 気道確保して人工呼吸をすること
- ⑦ 手際よく人工呼吸やAEDの操作が出来るか心配だから
- ⑧ AEDの使い方がよく分からなかったから
- ⑨ AEDのコネクタを付けるのを忘れそうだから
- ⑩ 使い方は理解できたが、もし自分が使う立場になったら気が動転して怖いから
- ⑪ 練習と本番は違うから
- ⑫ 講習の時、うまく出来なかったから
- ⑬ 手順を覚えていられるか心配だから
- ⑭ 学んだことを冷静に出来るか分からないから
- ⑮ 本当に目の前の人倒れたら、パニックで忘れてしまいそうだから
- ⑯ 自分がやって人が助からなかったら、どうしようと思うから

4. 今回の講習で、難しかったところがありますか？

(6 1 3) ある (50.7%) (5 8 1) ない (48.1%) (1 5) 未記入 (1.2%)

↓

4-2. どんなところですか

- ① 胸骨圧迫のリズム感「1・2・3・・・30」が難しかった
- ② どのくらいの速さで胸骨圧迫をすればいいのか分からなくて、力加減も難しかった
- ③ 胸骨圧迫する際、同じ場所を押し続けることが難しかった
- ④ 胸骨圧迫をする時に、肘を曲げないで真っ直ぐにして体重をかけること
- ⑤ 胸骨圧迫で深く（約5cm）押すのが、時間が経つにつれて出来なくなってしまった
- ⑥ 胸骨圧迫で力が足りなくなったり、手が痛くなったりした
- ⑦ 胸骨圧迫の際、人形に付いていたセンサーが緑ランプにならなかった
- ⑧ ゴリラ姿勢でやり続けること（フォームが崩れてしまいそう）
- ⑨ 力強く絶え間なくやり続けること
- ⑩ 「強く、速く、絶え間なく」が、重労働で疲れた
- ⑪ 胸骨圧迫と人工呼吸の繰り返しが疲れてしまい、難しかった
- ⑫ 人工呼吸で気道確保するのが難しかった（あごをもち上げる場所）
- ⑬ 人工呼吸でしっかりと息を吹き込み、胸があまり膨らまなかったこと
- ⑭ 人工呼吸で、鼻をつまみ口から空気がもれないよう吹き込む
- ⑮ AEDを持って来てくれた人に、胸骨圧迫をしながら話すことが難しかった
- ⑯ AEDパッドを貼るまでの間が長かったので、短くすることが難しかった
- ⑰ セリフを忘れてしまうので、少し心配
- ⑱ 心肺蘇生の一連の手順を覚えるのが難しかった
- ⑲ 人の命に関わることだから失敗は許されないし、難しいというより緊張感があった
- ⑳ 現実だと意識すること
- ㉑ ポイントが沢山あって難しかった
- ㉒ どの作業も時間をかけずに、素早く行うこと
- ㉓ 大きい声で、ハキハキと言わなくてはいけないところ
- ㉔ 救急車が来るまでの間、8分間もつかどうか分からない
- ㉕ やることがいっぱいある
- ㉖ 全部が難しかった

5. 実技講習の際、参考資料はどちらが利用しやすかったですか？

(3 3 7) 「心肺蘇生一連の流れ」・・・文字のみ (27.9%)

(8 0 5) 「大切な人を救う！一次救命措置の手順」・・・絵と文字のフロー図 (66.6%)

(6 7) 無記入・両方記入・・・(5.5%)

6. 今回の講習で人の命を救うことや命について考えたこと、また、講習の感想などを記入してください。

- ① 自分には絶対できないと思うことでも、今回の学習で少し自信ができました。何もやらないより、やった方がいいという意味の深さをすごく感じました。今回の学習は命を救うことなどを考え実践できたと思います。良い学習になりました。また、家族などにもシェアしてみんなで人の命を救えるようにしたいと思います。

- ② 講習前に配られた資料で、いつ起こるか分からなく、とても身近なものだと思いました。おかげで講習はしっかり話を聞くことが出来ました。
- ③ 人の命を救うことは、とても大変で難しいかもしれませんが「助ける！」という強い心が大切だと思いました。大事なことは手順をきっちりやることではなく、人を助ける、胸骨圧迫、人工呼吸、AEDなどが大切と分かった。
- ④ 人の命が今までよりもっと大切になった。
- ⑤ 消防署の人たちや地域の人たちのおかげで「人を助ける」ということが、どれだけ大切なのかよく分かりました。
- ⑥ 人の命は何にも変えられない本当に一番大切なもの。そんな命は自分も、いつ何が起きるか分からない・・・なので、とても勉強になった一日でした。
- ⑦ 命の重さが改めて分かりました。一度死んでしまったらゲームのようにリセットは出来ないのです、一つの命でも救えるようになりたい。
- ⑧ 今回の講習で「命の大切さ」を知りました。真剣に受けられて良かったです。また、分かりやすく教えてくださり嬉しかった。
- ⑨ 人はリセットが聞かないということを知り、命の大切さと目の前に人が倒れている時は自分が助けるという気持ちが湧きました。今回の講習で人を助ける自信ができました。
- ⑩ 最初は全然できなくて不安だったけど、何回も繰り返しているうちに自信がつかえました。将来、とても役に立つと強く感じさせる講習でした。
- ⑪ 初めはとても不安ですごく緊張していました。しかし、サポートの先生がやり方を教えてくれて「すごく上手！」と言ってくれたので、とても緊張がほぐれて不安が吹き飛びました。これからの生活でこの講習でやったことを生かそうと思います。
- ⑫ 人の命を救うことは、とても素晴らしいことだと思いました。
- ⑬ 今回の講習は、とても分かりやすかったです。この講習を受けたからには命を救えると思いました。
- ⑭ この講習を受けて「身近な人が倒れたり、通りすがりの人が倒れたらどうしよう」とか、そうしたら何が出来るかを考える機会が増えました。この講習を受けて本当に良かったです。
- ⑮ 今回の講習では「自分の勇気で他人の命を救うことが出来る」ことを学びました。自分が全く知らない人でも勇気を出せば助けられると知って講習に全力で取り組みました。
- ⑯ 私は、人の命を救うことは難しいと思いましたが、救急実技講習を受けて人の命を救うことは難しくありませんでした。家でも座布団を使って練習してみようと思いました。
- ⑰ 今回の講習で自信がついた。これからもこのような講習があったら、積極的に参加したい。
- ⑱ 私の手で人の命が救われる。将来医療に携わりたいと改めて思いました。
- ⑲ 「死」というのがすごい身近にあると感じました。また、身近な人を助けられる自信ができました。
- ⑳ 今回の講習で人の命の大切さを改めて感じた。終わった後、何も出来なかった手が、人を救える手になったことがとても嬉しかった。また自信をもらえて、本当に受けて良かったと思った。

- ⑳ 今までの私だったら人が倒れていても、119番通報しか出来ませんでした。今回習ったことで、もしその時に居たら胸骨圧迫など救命が少し出来ると思います。大変な時は恥ずかしいと思わず、しっかりと周りの人に伝わるようにしたい。一生の中で何回も出来ない貴重な体験をすることが出来ました。本当にありがとうございました。
- ㉑ 人の命の大切さに気付きました。
- ㉒ 「自分には関係ない」と初めは思っていました。最初は恥ずかしくてなかなか声を出すことが出来なかったけど、学習していくうちに「これで人を助けられるのなら」という思いに変わっていき積極的に活動できるようになりました。講師の方が、私の気持ちを変えてくれました。
- ㉓ この2時間の講習で身に付いたことを、これから先ずっと忘れないようにしたい。また自分には関係ないと思わず、自分の力で助けられる命があることを忘れないようにしたい。
- ㉔ 今回の講習で学んだことを生かして、自分の手を誰かを傷つける手にするのではなく、誰か一人でも多くの人を救う手にしたいと心から思いました。
- ㉕ 命について、ゲームではすぐに生きかえるけど、本当に起こったらゲームにならないように、今回学んだことを生かそうと思いました。
- ㉖ 人の命は一つだから、救える命は救いたいと心から思いました。将来この仕事に就いて、一人でも多くの命を助けたいと思いました。
- ㉗ 私は今まで命はそんなに重いものだと思っていませんでした。しかし今回、人の命の重さと大切さをよく知ることが出来、とても嬉しく思いました。
- ㉘ 人任せは駄目だと思った。あと、恥ずかしさを捨てなくてはと思った。
- ㉙ 講習で、命の大切さを学ぶことが出来ました。自分の手で命を救うなんて、ビックリしました。もし人が倒れていたら学んだことを生かしたいです。
- ㉚ 講習を受ける前は、心肺蘇生法やAEDの使い方も知らなかったが、講師の方が丁寧に教えていただき、分かりやすく命を救うことが出来た。
- ㉛ 今回の講習で、自分が人の命を救えるとは思っていませんでした。ですが、ボランティアの方々にAEDの使い方や胸骨圧迫を教えていただき、少し自信がつけました。今後忘れないように、また、たくさんの人に伝えていきたい。
- ㉜ 心肺蘇生を1セット（30回×2）やるだけで疲れ、でもこの疲れが人の命を救えるのなら無駄ではないと思いました。
- ㉝ 今回の講習では、改めて命の大切さやその重みを感じる事が出来た。そして実技を通して人を助けることが出来るという自信がついた。
- ㉞ 救急実技講習を受けて、自分にも出来ると改めて感じました。講師の方も熱心に教えていただき、難しくなく楽しく過ごすことが出来ました。最後に、人の命を救うというのは、どれだけ大事か。2時間という短い時間でしたが、本当にありがとうございました。
- ㉟ 今日習ったことを生かして倒れている人がいたら、きちんと教えられたことをやって多くの命を助けていきたい。自分の命の他、他の人や動物の命を大切にしていきたい。
- ㊱ 自分の手で人の命を救えるということが分かりました。人の命を救えるように今日のことは絶対に忘れません。

- ③⑧ 命は一つしかないなので、それを大事にしていきたい。
- ③⑨ 今回の講習で、自分でも人の命を救えてしまうことに驚き、また自分でも人の役に立てること実感し、とても誇りに思いました。この経験が生かせるように、今後も復習して伝えていきたいと思えます。
- ④⑩ 人の命を救うことは私には無理だと思っていたけど、実際にやってみて「私にも出来るかもしれない」と思い貴重な経験になりました。実演しているところを見て、将来、消防士になるのもいいなと思えました。
- ④⑪ 胸骨圧迫でずっと押しているのがすごく辛かったけど、実際のことを考えてやったら疲れたなんて言えないと思えました。中学生だから、恥ずかしいからと考えずに、もし目の前で人が倒れていたなら自ら進んで助けたいと思えました。今後の人生に役立てていきたいです。
- ④⑫ 今日の講習で、心肺蘇生法・AEDの使い方を教えてもらって「自分に出来ることは頑張っよう！」と思えました。自信はつきましたが、やはり本当にこんなことがあったら出来るか不安で、家でも練習してみたいと思えます。今日は教えていただきありがとうございます。細かく教えていただいてとても勉強になりました。自分にも救える命があることが分かりました。今日の講習と体験を忘れないようにしたいと思えます。
- ④⑬ 意外とやり方が簡単で、こんな自分でもすぐに出来て貴重な経験になりました。
- ④⑭ 命はとても重い。しかし講習で行ったことを忘れずに生かして行くことで、もし何かあった場合「その重い命を助けることが出来る！」と分かった。
- ④⑮ 私の夢は看護師なので、学んだことを踏まえて夢に進んでいきたい。
- ④⑯ 人の命が奪われるのは簡単。でも繋ぎとめることはとても大変だということが、よく理解できた。
- ④⑰ 最初は全く興味や自信がなかったが、この講習を受けて命の大切さが分かった

感想文から抜粋

1. DVD映像を見て何故か泣きそうになり、この学習をしっかりと学びたいと感じた。
2. 講習に参加して「上手だね」と言われて嬉しかった。丁寧に細かく教えてくれたので自信が湧いた。私も人の命を救うことが出来る。また、命というのは大切なものだと分かりました。
3. 命を救うという行為を知っておくことで人を大切に思うことが出来たり、心配する心が芽生えていく。思いやりの心こそ本当に必要だと、この講習会から感じました。
4. 私はいつもゲームをやっていてキャラクターが死ぬとコンティニューをする。正直、死ぬという実感が出来ていませんでした。この講習で、私に人の命というものを少し教えてくれた。だから「自殺とか簡単に言わないでください」「バカって言ったら死ぬ人もいる」だから「死んだら勝ちとか」命を粗末にするようなことは言ってはいけません。
5. 人の命の大切さや生きていることの大切さを学びました。私は今回教えてくださったボランティアの人達みたいに、人を助ける仕事をやってみたい。
6. この授業のことは一生忘れません。命を大切に生きていきたい。
7. 初めは何でこんなことをやらないといけないのか。けど、実際にやってみると思っていた以上に、楽しく面白く、時間がとても速く過ぎました。自分でもこんなに夢中になってやるとは思っていませんでした。
8. 救急実技講習を行って一人でも多くの人を助けたい。最初は面倒くさいと思ったが、南中の先輩がお父さんを助けたと聞きビックリした。これをきっかけに、この授業はとても大切な事だと感じた。
9. 先生が一から細かく教えてくれて、とても分かりやすかった。最初は面倒くさいと思っていたが講習前と後では全く違う気持ちに変わっていた。私は将来、医療や看護の仕事になりたい。また、命を救う大切さや大変さ重大さを学び、多くの人を自分の手で助けたいと感じた。
10. 救命措置は技術で助けられる訳ではないと思った。前までは資格がある人しか胸骨圧迫が出来ないと思っていた。私の母や祖母は看護師で、父は消防士、私の家族は人の命を救える職業に就いている。この講習をきっかけに、私も人の命を救える職業に就きたいと改めて感じた。
11. 命の大切さ重さ、そして助ける大変さを知った。命を投げ出すのは一瞬、逃げるのも一瞬。でも助けるのはたくさんの時間、そしてたくさんの人の手が必要。私の夢は医療系の仕事に就いて、医師や薬剤師の仕事をしてみたいと感じた。理由は看護師の母やドラマを見て憧れたから。また、今回の講習を受けて新たな理由を見つけました。それは単純に人を助けたいと思ったから。
12. この講習で、自分の気持ちがガラリと変わり夢が芽生えた。将来、医療関係の仕事をしたい。
13. 人任せではなく自ら行動したい。私は将来、救急救命士になりたいので、講習を受けたことでもっと興味が湧いた。
14. 生きているということが、すごい。今、この時に亡くなっている人がいることを知ったから。
15. 自分の手で人が助けられる、医療者だけが人の命を助けられると思っていた。真剣に取り組んでいる大人たちを見て、とてもかっこいい。私の力で少しでも助かる人が増えると良いと思った。
16. 小学生の時から、ふざけ半分で「どうせ自分には関係ない」とずっと思っていた。しかし、今日の講習のお陰で、自ら率先して行動し慌てずに対応したいと思った。
17. この講習をきっかけに私は将来、心肺蘇生の資格を取って命の大切さなどを伝えていきたい。皆の手が命を救える手になってほしいからと感じたから。
18. 人の命を助けることが大切で、毎日良いことをして生きていけたらと思った。また、命を助けることを教えてください。

19. 自分の目の前で人が倒れることは、全く想像することが出来ません。想像が出来ないということは、実際に起こったら確実に動けないということ。人を助けることをするのは、医者、看護師、救急隊だけではなく、ボランティアの方々もその活動に携わっていると思った。
20. AEDや心臓マッサージは、医者や救急隊が出来ればそれで良いと思っていた。そんな事を考えていた自分が情けなく感じた。中学2年生がお父さんを救ったことを知り、同じ学年だったことや人の命を取り戻すなんて偶然だったのではないか。でも、その考えは違い講習を開いてくれた人達が一生懸命教えてくれたからだと思った。一番大切なのが、授業を受ける自分だと思った。今思えば、話をしっかりと聞いていたからこそ、お父さんの命を救えたからだと感じた。たくさんの勇気をもらうことが出来、これで私の手は人の命の救えると感じた。
21. 自分でも命を救うことが出来る。とてもすごいことで嬉しいことだと感じた。今、生きていることは、とても幸せで素晴らしいことだと改めて感じた。誰にでも優しく悔いのない一日を過ごして行こうと思った。
22. 講習を受けたことで、人を救えなかった僕の手が人を救える手になった。この手を社会のため人のために使いたい。
23. 人の命は重くて大切だと改めて実感した。この講習のことは絶対に忘れません。
24. 自ら助けに行き、その方がまた人生を歩めるように、その手を伸ばして命を繋ぎたい。
25. 看護師になるため、たくさん勉強して習ったことを覚えたい。一人が出来ることによって、たくさんの命が救えると改めて感じた。
26. 大切な人たちを救える権利があると思うと、感謝の思いがすごく溢れてきて、この講習は「ムダとか」「ダサイとか」「疲れるとか」思わなくなって真剣に講習を受けることが出来た。
27. 人の命を救うということは「とてもすごいこと」だと思うので、これから人の役に立てるような人間になりたい。
28. 事前授業で南中と茂原中の生徒の話聞いて、冷静に対応して大切な家族の命を救ってすごいと思った。僕も講習を真剣に受け、人の命を救える手になって感動した。
29. とても簡単な講習なので、講習の義務化をした方が良いと思う。
30. 人の命を助けることは、素晴らしいと感じた。
31. 大切な家族や仲間を絶対に失いたくない後悔したくないので、真剣に取り組むことが出来た。
32. 自分でも人の命を救うことが出来ることは、とてもすごく嬉しいことだと思った。今、生きることが、とても幸せで素晴らしいことだと感じた。誰にでも優しく、悔いのない一日を過ごして行こうと思った。
33. みんなが動かないと、救えるはずの命が救えません。全国にもっと広まってほしいと感じた。
34. 事前学習で見た映像で、とても心を打たれました。人の命って「あっけなく終わるんだ」目の前で突然倒れたら「どうすればいいのか」たくさんの思いが浮かんで、講習ではしっかりと真剣に取り組むことが出来た。これからも充実した事前学習を続けてほしい。
35. これからはもっと命の尊さを考え、親が一生懸命に生んでくれたこの命を、もっと大切にして生きたい。
36. 一つの勇気が命を繋ぐ。人の命はバトンになっている。
37. 私の手は人を救える手になったと感動した。とても楽しく貴重な体験が出来ました。
38. 自分の手を見るたびに、人の命の重さや尊さを感じる事が出来た。
39. 自分の手は「人を傷つけるため」ではなく「人を救うため」にある。この言葉は一生忘れません。